

社協だより



あい

令和2年(2020) 12.16

第117号

創立50周年記念号

編集・発行

社会福祉法人

南陽市社会福祉協議会

南陽市赤湯215-2

健康長寿センター内

TEL 43-5888

FAX 43-3161

E-mail: tyoju@ms3.omn.ne.jp

 この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金により発行しています。

南陽市社会福祉協議会 創立50周年

本会は地域福祉の増進を図ることを目的として創立されました。今日まで市民の皆様、関係機関等のご理解とご支援をいただき、50周年を迎えられたことを心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

(社協50年のあゆみはP2～3をご覧ください。)



ふれあいネットワーク



南陽市社会福祉協議会

南陽市社会福祉協議会 50年のあゆみ

主たる事業や活動等を年代ごとに紹介します。

- 昭和42年6月 全戸会員制による南陽市社会福祉協議会発足
専任職員3名でスタート
- 昭和45年6月 社会福祉法人南陽市社会福祉協議会創立
- 昭和51年4月 特別賛助会員制創立
- 昭和55年4月 南陽市福祉バス運営事業受託
- 昭和56年4月 老人いこいの家管理事業受託

創立した当初から低所得世帯に対する世帯更生資金の貸付事業、南陽市からの委託事業を主に推進。同時にボランティア活動の実践は大変活発に行われていました。



評議員会



ふれあい給食サービス

- 平成2年3月 南陽市社会福祉協議会 梨郷支部 結成
- 平成2年4月 南陽市社会福祉協議会 沖郷支部 結成
ボランティア友の会 結成
- 平成2年6月 南陽市社会福祉協議会 漆山支部 結成
- 平成2年8月 南陽市社会福祉協議会20周年記念
南陽市市民福祉大会開催（南陽市市民会館）
- 平成3年3月 南陽市社会福祉協議会 赤湯支部結成
- 平成3年4月 ボランティア事業推進
- 平成3年6月 南陽市社会福祉協議会 金山支部 結成
- 平成3年9月 南陽市社会福祉協議会 中川支部 結成
- 平成3年11月 南陽市社会福祉協議会 吉野支部 結成
- 平成4年7月 南陽市ホームヘルプサービス事業受託
- 平成5年4月 ふれあいのまちづくり事業
- 平成5年5月 南陽市社会福祉協議会 宮内支部 結成
- 平成6年4月 事務局を南陽市健康長寿センター内に設置
南陽市デイサービスセンター事業受託
ふれあい総合相談所開設
南陽市ボランティアセンター設置
いきいきネットワーク事業推進
居宅介護支援事業実施
訪問介護事業実施
通所介護事業実施
- 平成7年4月 南陽市ボランティアセンター設置
- 平成10年4月 いきいきネットワーク事業推進
- 平成12年4月 居宅介護支援事業実施
訪問介護事業実施
通所介護事業実施
- 平成20年4月 南陽市健康長寿センター指定管理
南陽市老人いこいの家指定管理

～昭和から平成、
そして令和へ～



平成26年7月南陽市豪雨災害後、
全国からボランティアに駆けつけ
てくださった皆さん

本会では地域福祉の推進として、各支部社協との連携、福祉教育、ボランティアの育成と活動拠点の開拓、地域介護予防活動支援事業、共同募金の推進等々多岐にわたる事業を行っています。

今日の社会福祉を取り巻く環境は、少子高齢化や核家族化など家族形態の変容、地域住民相互のつながりの希薄化、さらには個人の価値観や生活様式の多様化等を背景に、生活課題や福祉課題が複雑化かつ複合化しています。また、高齢者の介護相談や認知症高齢者などの相談支援にあたりとともに、認知症サポーター養成講座や認知症カフェを通じて在宅介護の不安解消と認知症の理解・啓発に努めています。

これからも全ての住民が安心して、いきいきと生活できるよう地域の様々な活動を活性化し、ひとり一人が自立した生活を送ることができる地域社会の実現に向けて、より一層その推進に努めてまいります。

- 平成22年4月 基幹的福祉サービス利用援助事業受託
- 平成22年10月 南陽市社会福祉協議会創立40周年
- 平成22年11月 小地域福祉ネットワーク事業
地域支え合い事業及び助け合い除雪体制作り事業
- 平成23年3月11日 東日本大震災発生
・ 指定避難所への炊き出しボランティア
・ 老人いこいの家を利用した入浴サービスの提供
・ 義援金受付
・ 被災者に対する生活福祉資金貸付事業 など
- 平成24年3月 避難者生活相談支援事業受託
- 平成24年4月 社会福祉協議会ホームページ開設
- 平成25年7月 豪雨災害ボランティアセンター設置
- 平成26年4月 南陽市ファミリー・サポート・センター事業受託
- 平成26年7月 豪雨災害ボランティアセンター設置
- 平成27年4月 社協地域包括支援センター受託
- 平成27年4月 生活困窮者自立支援事業受託（南陽市生活自立支援センター）
- 平成29年10月 地域包括支援センター認知症カフェ
「カフェ・ロバ耳」開設

◎平成31年5月『平成』から『令和』へ

令和2年6月南陽市社会福祉協議会 創立50周年



小学生ぼらんていあひろば
「びよっこ」
高齢者施設で車イス乗車体験



はつらつクラブ事業（地域
介護予防活動支援）



赤い羽根共同募金へのご協力 ありがとうございます。

募金推進期間：令和2年10月1日
～
令和3年3月31日

昨年度ご協力いただいた募金総額は **3,736,256** 円です。

そのうち南陽市社会福祉協議会に配分された金額は **1,728,000** 円です。(残りは山形県内民間福祉施設やNPO法人に配分されました。)

皆様から寄せられた募金は地域福祉に役立てられております。活動の一部を紹介します。



～地域福祉のために～

- 地域の除雪支援、見守り活動
- ふれあい総合相談事業
- ボランティア活動支援
- 広報紙「あい」の発行(年3回)



～高齢者の福祉のために～

- 老人クラブ連合会への助成
- 高齢者地域サロンへの助成
- 給食サービス支援
- 認知症カフェ「カフェ・ロバ耳」支援



本会では共同募金の配分で【スズキ スペース】を福祉車両として購入しました。様々な地域福祉活動、主に高齢者サロン訪問や給食サービスなどの配達に活用します。大きな赤い羽根がトレードマークです。



～障がい者福祉のために～

～子育て支援事業～

- 障がい者スポーツ大会や交流事業
- 小さなお子さんの遊び場の提供



～児童・青少年福祉のために～

- 小中高校生ボランティアサークル活動支援
- 小学生ぼらんていあひろば「ぴよっこ」
- 中高校生ボランティアサークル「にじ」



ぼらんていあひろば



- 福祉教育指定校活動推進
(市内全小中学校、高等学校)



赤い羽根共同募金の啓発活動を行いました。

毎年10月上旬には市内大型スーパー店頭にて街頭募金を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため今年は中止としました。それに代わり市内各地区朝市のご協力のもと、赤い羽根共同募金の啓発活動を行いました。新しい取り組みとして金額に応じて、缶ジュース(山形食品)やクッキー(障がい者自立支援センター「さくら」)を返礼品として進呈しました。



※写真は令和元年街頭募金の様子

地域でご協力いただいた募金は集めた地域で使われています。また、大規模災害が起こった場合に備えて募金額の一部を積み立てています。これは被災者を支援するための災害ボランティアセンター開設・運営の資金であり、被災した家屋などの復旧支援に使われます。

南陽市でも平成25、26年7月の豪雨災害時に共同募金からご支援いただきました。



歳末たすけあい運動推進中

推進期間：令和2年12月1日～31日

スローガン

『つながり ささえあう みんなの地域づくり』



歳末たすけあい運動は共同募金運動の一環として地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが誰もが地域社会の一員として安心して暮らせるよう、住民の方々の参加や理解を得て様々な福祉活動を重点的に展開するものです。本年度はコロナ禍だからこそ、地域のつながりづくり、支え合いを絶やさないようにすることが大切です。

南陽市では地域募金(地区ごと取りまとめ)、篤志募金、職域募金による募金推進をおこない、配分委員会にて審議し、民生委員児童委員より支援を必要とする世帯に伝達いただきます。安心して新たな年を迎えられますよう、市民の皆様のご協力をよろしくお願いします。

令和2年度社会福祉協議会一般会費 ご協力いただきましてありがとうございました。

社会福祉協議会事業・地域福祉活動に使われます

合計 6,610,475円

令和2年11月30日現在 (単位：円)

地区名	金額	地区名	金額	地区名	金額	地区名	金額	地区名	金額
森 前	82,400	川 樋	127,200	六角町中	25,600	小 滝 上	13,600	高 梨	140,800
妹 背	80,800	釜 渡 戸	3,200	六角町下	55,200	小 滝 中	17,600	法 師 柳	32,000
横 町	74,400	小 岩 沢	94,400	和泉町一	68,000	小 滝 下	10,400	長 瀬	21,600
表 町	17,600	元 中 山	46,400	和泉町二	96,000	居 残 沢	4,000	西 落 合	10,400
仲 町	12,800	新 田	36,800	東 町 上	59,200	赤 山	2,400	中 落 合	14,400
栄 町 二	11,200	中川地区計	308,000	東 町 下	108,800	酒 町	14,400	萩 生 田	50,400
栄町一下	15,200	足 軽 町	56,000	吉野町上	68,000	東 向	14,400	蒲 生 田	52,000
栄町一中	22,400	久 保	34,400	吉野町下	35,200	新 屋 敷	15,200	若狭郷屋	344,800
栄町一上	78,400	桐 町	32,000	内 原	35,200	宮 ノ 下	12,000	郡 山 東	20,000
緑 町	55,000	横 町	34,400	砂 子 田	7,200	下 荻 北	9,600	郡 山 中	160,000
北 町	69,600	仲 ノ 丁	10,400	宮内地区計	1,633,600	下 荻 中	10,400	郡 山 西	100,000
本 湯 町	28,000	菖蒲沢町	37,600	1 組	34,400	下 荻 下	7,200	島 貫	184,000
旭 町	52,000	宮 町	20,000	2 組	48,000	太 郎 北	10,400	沖郷地区計	1,458,400
清 水 町	32,000	田 町 上	24,000	3 組	16,800	太 郎 南	10,400	桐 町	30,400
金 沢	18,400	田 町 下	41,600	4 組	36,800	吉野地区計	152,000	上 町	20,000
松 沢	20,000	新 町	32,000	5 東 組	24,800	原 板 宮	8,800	酒 町	14,400
櫛 塚 一	253,000	柳 町 上	23,200	5 西 組	17,600	黒在家六角	8,800	中 巻	18,400
櫛 塚 二	44,200	柳 町 中	26,400	6 組	16,800	川 西	18,400	巻	16,800
二 色 根	128,000	柳 町 下	27,200	7 組	15,200	中 央	8,800	平 野	8,800
若 葉 町	93,600	別 所 町	48,800	8 組	30,400	中 里	9,600	中 野	15,200
花 見 町	82,400	黄 金 町	58,400	9 組	67,200	片 岡	11,200	辻 柳	20,800
俎 柳	56,000	南 町 上	32,800	10 組	19,200	川 中 島	8,800	塩 釜	14,400
長 岡	127,200	南 町 中	14,400	11 組	26,400	中 北	4,800	東 川 前	24,000
桜木町一	70,000	南 町 下	41,600	12 組	40,800	尾 島	24,800	西 川 前	15,200
桜木町二	100,000	富 貴 田	91,200	13 組	14,400	金山地区計	104,000	西 和 田	28,800
桜木町三	60,480	錦 町	105,600	14 組	41,600	宮 崎	68,000	東 和 田	27,200
桜木町四	84,800	旭 町	35,200	15 組	24,800	露 橋	40,800	竹 原	20,800
大 橋	45,600	新 丁	31,200	16 組	22,400	関 根	42,400	大 町	26,400
石 田	40,595	本 町	64,000	17 組	24,800	坂 井	27,200	神 社 前	38,400
三 間 通	178,400	桜 田	118,400	18 組	35,200	沖 田	21,600	山 ノ 内	3,200
上 野	18,400	清 水 町	20,800	20 組	800	鍋 田	78,400	梨郷地区計	343,200
赤湯地区計	2,052,875	六角町上	13,600	漆山地区計	558,400	中 ノ 目	49,600	合 計	6,610,475

1 世帯800円の会費をお願いいたしました。

南陽市ボランティア友の会は「全社協会長表彰」に輝きました！

この度、「南陽市ボランティア友の会(以下「ボランティア友の会」という)」は、長年にわたる社会福祉活動への功績が認められ、「令和2年度全国社会福祉大会」において、社会福祉事業協助者の部で「感謝」の受賞が決定いたしました。

これまで、ボランティア友の会をお導き頂いた諸先輩をはじめ、その活動を引継・継続してきた会員の皆さまの“たゆまぬ努力の賜物”と感謝を申し上げます。

さて、ボランティア友の会は、平成2年に発足し「南陽市赤十字奉仕団」活動も担うなど、広範に活動してきました。これまでの活動で印象に残るものを振り返って見ると、東日本大震災(平成23年3月11日)発生の際は、県外から中川中学校に避難してきた避難者の方々に、約1カ月にわたり交代で食事を提供しました。また、平成25年と26年には、南陽市が連続して豪雨災害に見舞われたことです。この時は猛暑の中、全国から支援に来られた沢山のボランティアの方々に飲料水を提供し、更には、待機場所や休憩場所の環境整備等に努めたことです。この体験は、会員のボランティアスキル向上にもつながった貴重な経験となりました。

主な活動として南陽市総合防災訓練では毎年「炊き出し訓練」に参加し、非常食の提供をしています。また、市民の方々から寄せられたプルタブを換金、市内福祉施設等に車椅子の寄贈もしており、福祉施設へのボランティア等、会員の“社会参加したい・地域の役に立ちたい”の意識と、地道な活動が今回の受賞に結びついたものと思っております。

今年度は「新型コロナ禍(withコロナ)」のため、計画した活動の大半が実施できない状態となっていました。しかし、ボランティア活動を維持・継続することから考慮し、「役員会等の計画開催」「古切手の選別・取りまとめ」「視察研修旅行」等を実施しました。新型コロナ禍の中で活動が制約される状況ですが、「継続は力なり！」を念頭に“今できることは何か？”を考えながら活動を進めたいと思っております。

南陽市ボランティア友の会 事務局



古切手の選別・取りまとめの様子



施設へのタオル贈呈の様子

高齢者地域サロン支援者情報交換会を開催しました

各地区公民館を会場に、高齢者地域サロン支援者情報交換会を開催しました。今年度の主な内容は、

- ①令和3年度からのサロン実施要綱の一部変更について
- ②各サロンより今年度の活動状況について
- ③生活支援コーディネーター(南陽市地域包括支援センターより)「移動支援」「みんなの茶の間」について説明と案内

コロナ禍ではありますができる範囲で活動しましょう。事務局では、サロン活動についてご相談に応じますので、電話または窓口までお越しください。

問合せ ☎43-5888



新型コロナウイルス感染症の影響で 収入が減少し**生活資金**や**家賃の支払い**でお悩みの方へ

新型コロナウイルス感染症の影響によって休業や失業状態等になり、収入が減少して生活資金や家賃の支払いでお悩みの世帯に向けた、**生活福祉資金の特例貸付**（保証人不要・無利子）と**住居確保給付金**の相談に応じています。

緊急小口資金

緊急・一時的な生計維持のために

■貸付上限額 20万円以内

■据置期間 1年以内

■償還期間 2年以内

申請は12月末日までです。
お早めにご相談ください。



総合支援資金

生活再建までの間に必要な生活費用として

■貸付上限額 二人以上の世帯 月20万円以内
単身世帯 月15万円以内

■貸付期間 原則3月以内

※3月目においても減収状態が続き、日常生活の維持が困難な世帯が自立相談支援機関による支援を受ける場合、さらに3月延長可能。

■据置期間 1年以内

■償還期間 2年以内

緊急小口資金を借入後、
尚且つ生活費を必要とする方、
12月末日まで申請できます。
お早めにご相談ください。



住居確保給付金

住居を失う恐れのある方のための給付金

■対象要件 離職等の日から2年以内で、離職前に主たる生計維持者であった方。

※世帯の収入や預貯金の合計額が基準額以下である等の要件有

■支給額 収入に応じて調整された額（上限有）

■支給期間 3月間 ※一定の条件により3月間の延長及び再延長が可能

申請期間等の変更がある場合は、
社会福祉協議会のホームページでお知らせします。
ひとりで悩まずに、まずはご相談ください。

南陽市生活自立支援センター ☎0238-40-8061 (平日 8:30~17:15)

社会福祉協議会へのお電話は…受付時間平日 8:30~17:15

老人いこいの家は 9:00~17:00(月曜日はお休み)

代表 総務係 ふれあい総合相談所・ファミリーサポートセンター	☎43-5888	☎43-3161
南陽市生活自立支援センター	☎40-8061	☎43-3161
南陽市社会福祉協議会地域包括支援センター	☎50-1018	☎43-8580
居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)	☎43-7733	☎40-8075
通所介護事業所(デイサービス)	☎43-3288	☎40-8075
訪問介護事業所(ホームヘルパー)	☎43-6635	☎40-8075
老人いこいの家	☎40-2233	☎43-7922



メールでのお問合せは…tyoju@ms3.omn.ne.jp